

情勢の簡単な整理と運動的提起

I. 情勢のポイント

- 1) 非核化と米朝関係
- 2) 金正日国防委員長重病説
- 3) 米国の大統領選と朝鮮半島政策
- 4) 福田首相辞任と日朝関係

II. 運動的提起

1) 政府への要請

①集会決議にそって、対政府、自治体、議会に働きかけます。

②政府等に対し、ひきつづき、情勢に応じて、日朝国交正常化へのとりくみを要請します。

2) 政治局面に関連して

自民党政権が日朝国交正常化に有効な政策を打ち出せなかったこれまでの現実を冷静にとらえ返し、日朝国交正常化に向け見識を持つ議員が増えるよう、アピールする。同時に、民主党・社民党を中心とする野党政権成立の可能性を視野にいれ、民主党・社民党に対し日朝国交正常化をめざしての政策を持つよう具体的に働きかけます。

こうした働きかけは、中央で行なうとともに、地方でも実情に合わせとりくみます。また、地方議会、自治体レベルでも、平和と和解の日朝関係構築に向け働きかけを強めます。

3) 講演・学習活動の強化

今後1年間に、全県で日朝国交正常化をめぐる講演会・学習会を開催し運動の前進と拡大をめざします。また、日朝問題の知識を深めると同時に、担い手の拡大をめざします。

4) 日朝交流の継続・発展

日本政府に制裁解除を促し、日朝の市民レベルの交流を拡大するためにも、中央・地方で計画的に訪朝団派遣にとりくみます。

5) 在日コリアンとの協力

引き続き、在日コリアンに対する政治的抑圧に抗議し、民族教育など権利擁護にむけ連帯してとりくみます。

6) 情報の共有

各地における日朝の運動の情報について、連絡会を通じて集約・発信し、ともに共有することで運動レベルの底上げを図ります。同時に、北朝鮮、米朝関係、韓国情勢など、運動的に有意義な情報を広く共有できるよう、平和フォーラムのサイトに日朝のコーナーを設け、充実を図ります。訪朝した地域の代表からの報告なども掲載します。

7) 日朝国交正常化連絡会の組織強化

①連絡会への参加団体・個人の拡大に中央・地方で取り組みます。

②役員体制を充実させ、組織強化を行います。